

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	NPO 法人 よるべさ	代表者	小野田 直子	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住み慣れた地域で最後まで暮らしたいという思いを支えていこうと、平成24年に開設した。</li> <li>・事業所は、南北に70キロ以上ある町の中でも、市街地から30キロ以上離れた地域にある。</li> <li>・添牛内、朱鞠内、母子里の、北部三自治区を対象に活動している。各自治区との距離も、10kmから、20kmと離れており、年々、人口も減り、高齢化が進んでいる。</li> <li>・登録者だけでなく、地域住民も対象とした、体操教室や、買い物ツアーを行ったり、独居の方への元気コールなども行っている。</li> <li>・しゅまりの会というボランティア団体と協力して、地域住民と作品を作ったり、花壇整備を行っている。</li> </ul>
事業所名	スマイルホームえん	管理者	蔵前 直美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1名		11名		1名			5名		18名

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己評価の改善計画については、職員全員が意識するために、進捗状況を中間期に、職員全員で確認する。出来ていない点は、なぜ、出来ていないのか原因を探り、計画を達成できるようにする。</li> <li>②9月の運営推進会議に報告する。</li> <li>③小規模多機能についての内容が分かりやすいように老人クラブや運営推進会議で説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中間期に改善計画の取り組みについて評価し、できていない事項について、今後どのように取り組んでいくのか話し合った。</li> <li>②運営推進会議で報告した。</li> <li>③小規模の説明は、運営推進会議では実施できたが、老人クラブで説明する機会が持てなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を見ただけでは分からないので、具体的に、どのように進めているのかわかるようにした方が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己評価の改善計画の進捗状況を中間期に、職員全員で確認する。出来ていない点は、なぜ、出来ていないのか原因を探り、計画を達成できるようにし、9月の運営推進会議で報告する。</li> <li>②職員が自己評価にどのように取り組んだかわかる資料を添付する。</li> <li>③スマイルホームえんで、どのように支援しているのか、運営推進会議で説明する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>①季節行事の一覧を作成し、担当者を決め作品作りの計画を立てる。</li> <li>②保育所と連携し、利用者様と作品を作ったり、行事を行う。</li> <li>③玄関も、毎日掃除する。</li> <li>④センサーや防犯カメラについてはどのようなものが良いのか、運営推進会議で検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①担当者が計画的に実施していた。毎月、利用者さんが楽しみにしていた。玄関の飾りも、季節に合わせて飾りつけ、地域の方にも見てもらうことができた。</li> <li>②一緒に作品を作る機会は持てなかったが、イモ植え、夏祭り、ハロウィンなど企画し保育所との連携を図った。</li> <li>③前半は、気が付いた時しかできていなかったが、中間期に見直し、曜日を決めて実施した。手伝ってくれる利用者さんもいた。</li> <li>④11月の運営推進会議で、実施できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出入りをしていないから分からない。(コロナの関係で出入りを制限しているのかと思っていた)</li> <li>・防犯カメラについて、協議を続けているが、どうなっているのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①季節行事の一覧を作成し、担当者は飾りつけや、作品作りの計画を立て、実施する。</li> <li>②玄関内外の清掃、整理整頓を曜日を決めて実施する。</li> <li>④寮玄関の入り口に防犯カメラを設置する。</li> </ul>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①老人クラブや地域行事へは今まで通り職員全員が参加できるようにする ②接遇の研修をし挨拶を重点的に行う ③困りごとや相談を受けやすくするためよるべき通信にて発信する。</p>	<p>①老人クラブが開催される時は、職員全員ではないが、参加した。地域行事は、コロナの関係で開催されなかった。 ②接遇の研修は実施した。地域の方が、用事があり来た場合、明るく挨拶できていた。 ③通信で、毎回周知した。相談に対応したり、受診介助など行った。</p>	<p>・今後も感染予防対策をどうするかだと思われる。どう対応したらいいのか知恵を出し合ってゆくしかないと思う ・よるべき通信は写真などありわかりやすいが、こういう工夫してますなどを載せたら良いと思う。</p>	<p>①利用者さんと一緒に、外に出る機会を作る。(散歩、花壇、畑作業など) ②地域の方が、一休みできる場所を、事業所の敷地内に設ける。 ③よるべき通信で、事業所が工夫していることや、困りごとの相談に応じていることなどを、周知する。 ④プライバシーに配慮しながら、地域の方からの相談対応について、運営推進会議で報告する。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①引き続き、担当国会議に本人と関わりのある方に参加してもらい、意見をいただく。 ②利用者様が地域行事、イベントへの参加ができるようにする。</p>	<p>①担当国会議は、家族と本人、担当者のみで行うことが多かったが、中には、医師や親せき、地域の方にも参加してもらい開催できた利用者さんもいた。 ②コロナ感染予防のため、行事やイベントの開催が難しく、人が集まる機会が少なかった。老人クラブへの参加はあった</p>	<p>・意見なし</p>	<p>①引き続き、担当国会議に本人と関わりのある方に参加してもらい、意見をいただく。 ②感染予防を徹底し、利用者様が地域行事、イベントへの参加ができるようにするとともに、地域の方に参加してもらえる事業所の行事の企画を立て実施する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>①意見を沢山いただけるように会議前に企画を立てる。 ②会議では地域の困りごとを聞き取る。 ③再度、助け合いネットワークの模擬訓練の計画を立て、実施する。</p>	<p>①会議の企画を立てたが、意見をもらうための工夫は足りなかった。 ②地域の困りごとは、毎回聞き取りをした。 ③模擬訓練を実施することはできたが、担当者間の事前打ち合わせが不十分で、連絡など上手く進まない場面があり、マニュアルから見直す必要があった。</p>	<p>・会議に欠席した方に議事録を、配布したほうが良いと思う。</p>	<p>①運営推進会議に参加できなかった方に議事録を配布する。 ②会議では地域の困りごとを聞き取る。 ③助け合いネットワークのマニュアルを見直して、令和三年度も模擬訓練を実施する。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>①消防の指導を受け防災計画を立て直す。 ②防災備蓄品を常に把握しておくために、一覧表を作成し定期的に残数などの、管理をする。</p>	<p>①消防の指導は受けなかったが、防災計画を立て、運営推進会議で周知することはできた。 ②防災備蓄品の管理は出来ていたが、全職員が把握するには至っていない。</p>	<p>・防災訓練（事業所）に参加してもらうように進めていくと良いと思う。 ・非常用の発電機が必要だと思う。</p>	<p>①地域の方にも防災訓練に参加してもらおう。 ②訓練での課題抽出を行い、運営推進会議にて、意見を出し合い、防災計画の見直しを行う。 ③防災備蓄品を常に把握しておくために、一覧表を作成し定期的に残数などの、管理をする。 ④非常用発電機を購入する。</p>